

品番 73751
ダイヤルテストインジケータ
0.01mm/0.8mm

■用途

- 平面度測定に。
- 平行度測定に。
- 偏芯測定に。

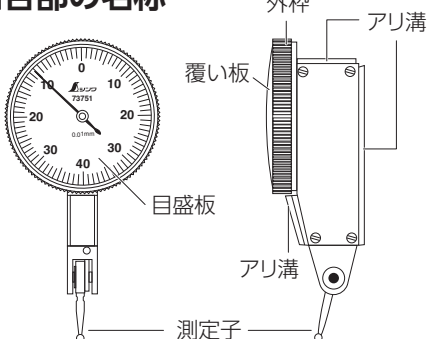
■特長

- 便利な2種類のステムが付属しています。
- 収納ケース付です。

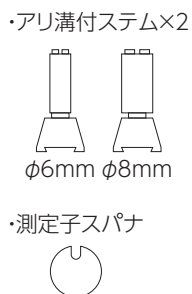
■対応マグネットスタンド

品番	品名
73752	マグネットスタンド A 標準型
73753	マグネットスタンド A-2 微調整付

■各部の名称

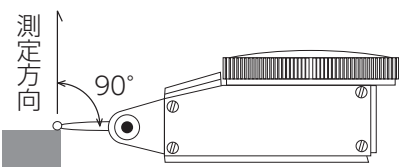


■付属品

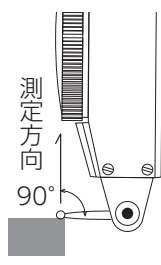


■使用方法

測定子を測定物の測定方向と直角になるようにセットします。校正の際は必ず直角にセットしてください。



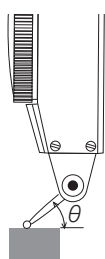
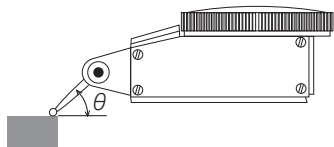
本体が横姿勢の時



本体が縦姿勢の時

※直角にセットできない場合

測定方向と直角にセットできない場合は次の方法によって補正してください。



角度(θ)	補正係数(k)
10°	0.98
20°	0.94
30°	0.86
40°	0.76
50°	0.64
60°	0.50

真の値(近似値) = 読取値 × 補正係数(k)

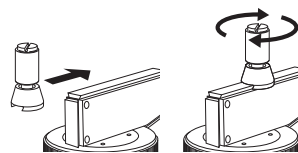
例

角度(θ)が60°で、インジケータの読取数値が0.04mmの場合

$$0.04\text{mm}(\text{読取値}) \times 0.50 \left(\begin{array}{l} 60^\circ\text{のときの} \\ \text{補正係数} \end{array} \right) = 0.02\text{mm}$$

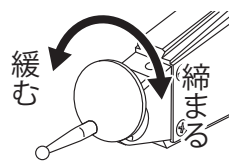
■ステムの取り付け方

本体のアリ溝に合わせてステムをスライドさせ、時計回りにネジを締めて固定してください。



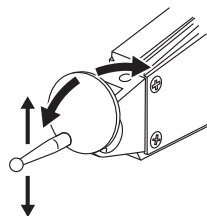
■測定子の取り付け方

付属の測定子スパナの溝に測定子つけ根の溝を合わせ、右図のように回して取り付け・取り外しを行ってください。



■測定子の角度調整

先端部に力を加えないように付属の測定子スパナの溝に測定子つけ根の溝を合わせ、右図のように調整を行ってください。



■仕様

測定範囲	0~0.8mm
目量	0.01mm
外枠径	38.5mm
目盛仕様	0 - 40 - 0
全測定範囲行き指示誤差	13μm
戻り誤差	4μm
10目盛指示誤差	5μm
測定力	0.4N以下
材質	外枠、目盛板:アルミ 目盛板カバー:アクリル樹脂 ステム:真ちゅう、ステンレス 測定子:ステンレス
本体サイズ	77×39×25mm
製品質量	44g
付属品	アリ溝付ステム(φ6mm、φ8mm)、 測定子スパナ、収納ケース

△ 注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 測定器はそれぞれ精度が決まっています。使用状況に合わせて使用してください。なお本製品の精度は「■仕様」をご覧ください。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油で拭かないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 測定子が緩んでいないことを確認してください。
- 測定子が濡れた状態で保管するとサビの原因になるので乾いた布で拭いてください。
- 指針がスムーズに動くことを確認してください。
- 指針の静止点が安定していることを確認してください。
- 測定子の汚れは、乾いた布かアルコールを少々含ませた布で拭き取ってください。
- 測定子を勢いよく動かさないでください。
- 注油はしないでください。
- 保持具は、剛性のあるものを使用してください。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。

2023/4/17現在